

レーザーテック VS 東京エレクトロン

投資するならどっち？

株価比較

過去10年ではレーザーテックが圧勝



過去2年でもレーザートック優勢



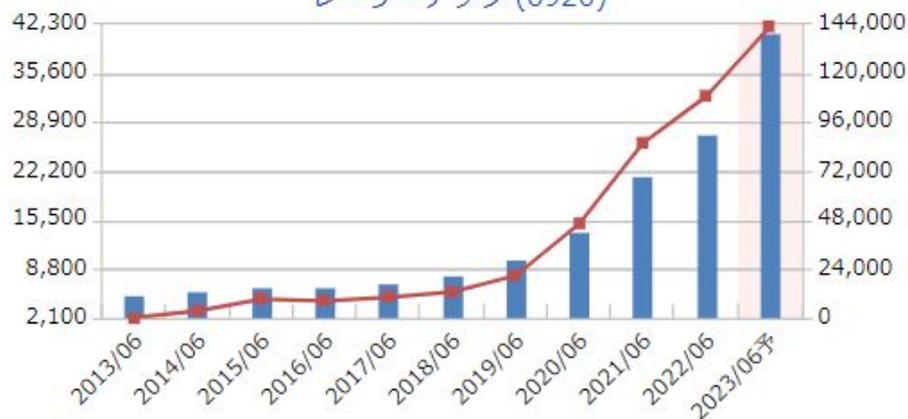
指標比較

	レーザーテック	東京エレクトロン
売上高	903億円	2兆38億円
時価総額	2.0兆円	7.2兆円
PER	60.2倍	18.0倍
配当利回り	0.44%	3.21%
純利益 10年成長率(年率)	30.0%	28.1%
ROE	38.9%	37.2%

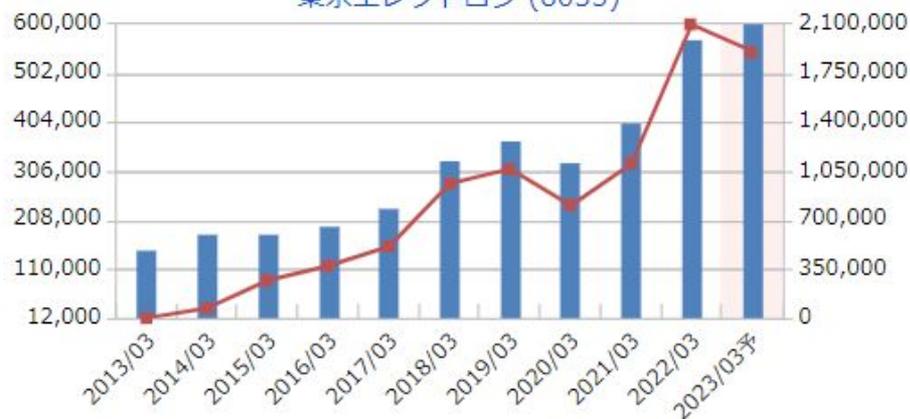
業績比較

半導体市場の拡大を受け、両社順調に成長

レーザーテック (6920)



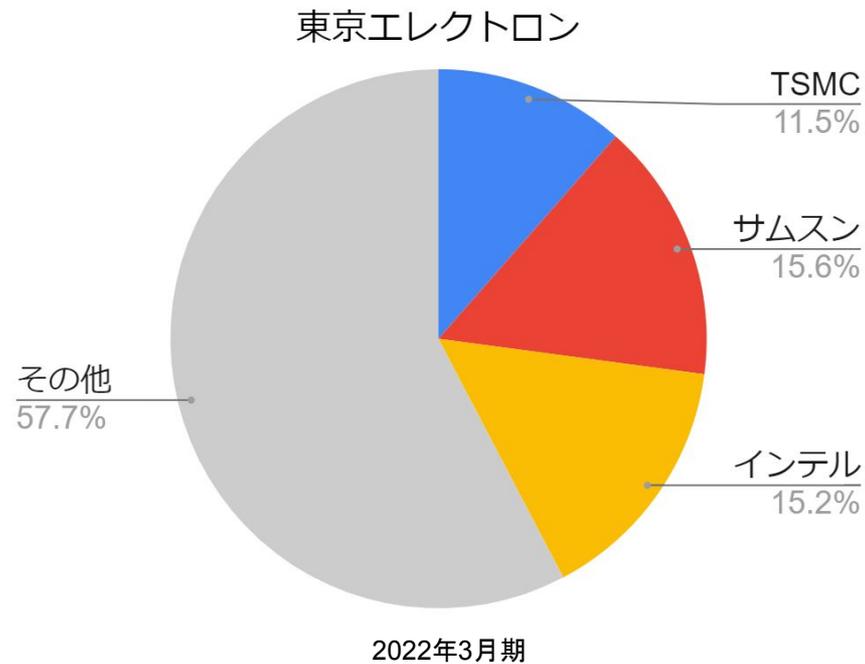
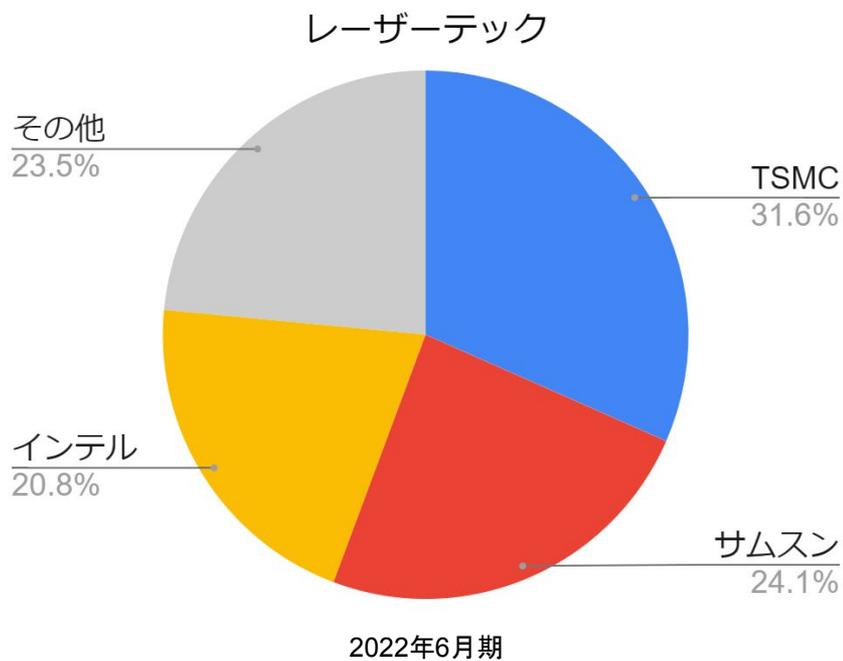
東京エレクトロン (8035)



両社の特徴

	レーザーテック	東京エレクトロン
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 半導体検査装置メーカー● レーザー顕微鏡を出発点に、検査・計測装置を開発	<ul style="list-style-type: none">● 世界4位の半導体装置メーカー● コータ/デベロッパ、エッチング装置、成膜装置、ウェハープローバ等複数製品
特性	<ul style="list-style-type: none">● 世界初「EUVマスクブランクス欠陥検査装置」を開発● シェア100%で業績は急上昇	<ul style="list-style-type: none">● 「前工程」に強みを持ち様々な製品を扱う● 顧客ニーズを主眼に経営
リスク	<ul style="list-style-type: none">● 同業でより巨大なKLAの存在● PERが高水準	<ul style="list-style-type: none">● 製品を幅広く扱う故、半導体市場の波を免れない● アプライド、ASML等競合

いずれも売先が大手半導体メーカーに偏重



長期投資対象としての見方

- **レーザーテック** はEUVフォトマスク露光検査装置を世界に先駆けて投入し、現在もシェア100%。今後も **爆発力は大きい**。
- 一方で、**ライバルのKLA** も追随しない理由はない。追いつかれるのは時間の問題か。
- 上記の状況で、**PER60倍** は、必ずしも手を出したい状況ではない。
- **東京エレクトロン** は、目先の業績予想に対するPERは低い。これは **半導体市場の減速** を織り込んだもの。
- 長期で見れば、半導体市場の成長とともに一定水準で伸びていく可能性。
- 爆発力には欠けるが、**大きな失敗はしにくい**。

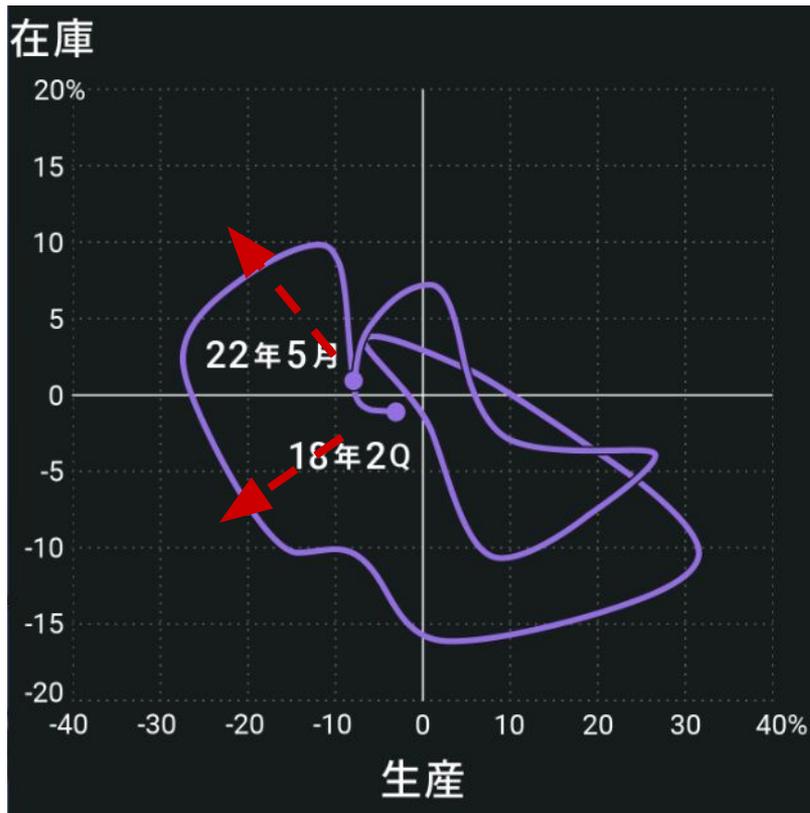
長期投資するなら

東京エレクトロン

に軍配！

ただし...

半導体市場をどう見る？



アナログ半導体の 在庫循環図を見る

では半導体の在庫、生産のバランスはどうなっているだろうか。
日本の半導体メーカーが多く手掛ける「アナログ半導体」の在庫
循環図を作成した。経済産業省の生産動態統計を基に18年4~6月
から22年5月までの図を作成した。